平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月７日

上場会社名　　東邦亜鉛株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5707　　ＵＲＬ　http://www.toho-zinc.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）手島　達也
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）乙葉　敏夫　　ＴＥＬ　03-3272-5614

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	28,902	22.1	△1,084	－	△1,479	－	△1,288	－
25年３月期第１四半期	23,664	△3.6	△1,453	－	△2,389	－	△1,629	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　3,504百万円（28.2%）　25年３月期第１四半期　2,734百万円（△19.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△9.49	－
25年３月期第１四半期	△12.00	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	150,077	59,419	39.6	437.55
25年３月期	145,814	56,593	38.8	416.75

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　59,419百万円　25年３月期　56,593百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	65,000	39.4	2,500	－	3,300	－	1,500	－	11.05
通期	129,000	24.5	4,100	666.5	4,700	78.3	1,700	－	12.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	135,855,217株	25年３月期	135,855,217株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	56,226株	25年３月期	56,226株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	135,798,991株	25年３月期１Ｑ	135,798,848株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
４．その他 …… 9
（１）連結売上高 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需が底堅く推移するなかで、円安を背景とした輸出の持ち直しも加わり、経済活動の水準は緩やかに上昇基調をたどりました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、為替相場（円／ＵＳ＄）が新年度から円安傾向をたどり一時100円台に乗せた後、90円台半ばまで円高に戻るなど乱高下はありましたが、総じて前年同期と比べて円安水準で推移しました。またＬＭＥ（ロンドン金属取引所）相場等の金属価格は、中国経済減速による需要鈍化と、これも中国を中心とした供給過剰構造が継続したことから、前年同期と比べて回復は見られず低位に推移しました。

当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、連結子会社の豪州の鉱山会社CBH Resources Ltd.（以下「ＣＢＨ社」という。）がラスプ鉱山をフル操業していることに加え、大幅な円安で推移したことから、売上高が289億2百万円と前年同期比52億38百万円（22.1％）の増収となりました。

損益面では、ＣＢＨ社のラスプ鉱山での赤字が解消せず、10億84百万円の営業損失となったものの、円安による採算改善により前年同期比では赤字幅が縮小しました（前年同期は14億53百万円の営業損失）。経常損益はＣＢＨ社に対する豪ドル建て貸付金の為替評価損失が加わり14億79百万円の経常損失となったものの、ＣＢＨ社が受けとるロイヤリティ収入の権利を資産計上したこともあり、前年同期比で営業損失以上に赤字幅が縮小しました（前年同期は23億89百万円の経常損失）。四半期純損益は税効果の影響もあり12億88百万円の四半期純損失（前年同期は16億29百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①　製錬事業部門

当第１四半期連結累計期間におきましては、銀価格の大幅な下落はあったものの、銀の増産や大幅な円安が効いて、売上高は197億78百万円と前年同期比29億9百万円（17.2％）の増収となりました。営業損益は、3億11百万円の損失と水面下であったものの、前年同期比では円安効果により大幅に赤字幅が縮小しました（前年同期は17億20百万円の損失）。

②　資源事業部門

ＣＢＨ社を擁する当事業部門の売上高は、ＣＢＨ社ラスプ鉱山が本格操業していることから、35億28百万円と前年同期比20億9百万円（132.4％）の大幅増収となりました。一方でラスプ鉱山において収益源となる高品位鉱からの採掘が遅れ赤字が継続したことから、営業損益は14億円の損失と前年同期比大幅な減益となりました（前年同期は3億45百万円の損失）。

③　電子部材事業部門

電子部品、電解鉄、プレーティングとも需要の伸び悩みにより、売上高は16億75百万円と前年同期比87百万円（5.0％）の減収だったものの、円安効果もあり営業利益は2億36百万円と前年同期比18百万円（8.6％）の増益となりました。

④　環境・リサイクル事業部門

主力製品の酸化亜鉛の需要が堅調に推移した結果、売上高は12億51百万円と前年同期比1億24百万円（11％）の増収、営業利益は2億98百万円と前年同期比1億53百万円（105.3％）の増益となりました。

⑤　その他事業部門

防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業及び運輸事業等で構成される当事業部門の売上高は、建築及び土木部門の売上増により前年同期比2億82百万円（11.8％）増収の26億69百万円、営業利益は2億45百万円とほぼ前年同期並みとなりました（前年同期は2億51百万円の利益）。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ42億63百万円増加し、1,500億77百万円となりました。これはＣＢＨ社の鉱業権が増加したことや、流動資産その他に含まれている鉱石等の前払金が増加したことによるものであります。

負債については、未払法人税等が減少したものの、コマーシャル・ペーパーの増発を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ14億37百万円増加し、906億58百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、ＣＢＨ社純資産の為替換算でその他の包括利益累計額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ28億25百万円増加し、594億19百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は39.6％となり、当第１四半期連結会計期間末において、0.8ポイント上昇しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、非鉄金属価格・為替相場の動向等の先行きが不透明であり、予断を許さない状況にあります。

以上の状況を勘案して、平成26年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期とも前回公表（平成25年5月10日）の予想を据え置くことといたしました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,414	11,178
受取手形及び売掛金	14,667	14,336
たな卸資産	31,295	30,260
その他	4,007	6,998
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	61,384	62,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,175	10,299
機械装置及び運搬具（純額）	26,221	26,844
土地	16,948	16,948
その他（純額）	977	560
有形固定資産合計	54,322	54,652
無形固定資産		
のれん	548	587
鉱業権	23,166	25,309
その他	52	49
無形固定資産合計	23,767	25,946
投資その他の資産		
投資有価証券	4,319	4,065
その他	2,775	3,396
貸倒引当金	△756	△756
投資その他の資産合計	6,339	6,705
固定資産合計	84,429	87,304
資産合計	145,814	150,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,158	5,878
短期借入金	22,478	22,478
1年内返済予定の長期借入金	2,897	3,332
コマーシャル・ペーパー	6,000	10,000
未払法人税等	2,308	98
引当金	285	314
その他	5,824	5,786
流動負債合計	45,951	47,889
固定負債		
長期借入金	31,560	30,841
退職給付引当金	2,191	2,123
その他の引当金	501	537
資産除去債務	1,368	1,489
再評価に係る繰延税金負債	5,061	5,061
その他	2,586	2,716
固定負債合計	43,269	42,769
負債合計	89,220	90,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	21,696	19,728
自己株式	△23	△23
株主資本合計	46,179	44,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	781	776
繰延ヘッジ損益	482	1,181
土地再評価差額金	8,290	8,290
為替換算調整勘定	859	4,958
その他の包括利益累計額合計	10,413	15,206
純資産合計	56,593	59,419
負債純資産合計	145,814	150,077

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	23,664	28,902
売上原価	23,171	27,419
売上総利益	492	1,483
販売費及び一般管理費	1,946	2,567
営業損失（△）	△1,453	△1,084
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	40	64
受取ロイヤリティー	―	580
その他	69	152
営業外収益合計	116	801
営業外費用		
支払利息	131	111
為替差損	897	1,062
その他	23	23
営業外費用合計	1,052	1,197
経常損失（△）	△2,389	△1,479
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	―	105
その他	4	―
特別利益合計	5	107
特別損失		
固定資産除却損	63	24
投資有価証券評価損	4	124
その他	2	―
特別損失合計	70	148
税金等調整前四半期純損失（△）	△2,454	△1,521
法人税、住民税及び事業税	92	84
法人税等調整額	△916	△316
法人税等合計	△824	△232
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,629	△1,288
四半期純損失（△）	△1,629	△1,288

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,629	△1,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511	△5
繰延ヘッジ損益	881	699
為替換算調整勘定	3,993	4,099
その他の包括利益合計	4,364	4,793
四半期包括利益	2,734	3,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	3,504
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	製錬	資源	電子部材	環境・リサイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,869	1,518	1,762	1,127	21,277	2,386	23,664	―	23,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	693	730	34	0	1,458	1,214	2,673	△2,673	―
計	17,563	2,248	1,796	1,127	22,736	3,601	26,337	△2,673	23,664
セグメント利益又は損失（△）	△1,720	△345	218	145	△1,701	251	△1,450	△3	△1,453

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△21百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	製錬	資源	電子部材	環境・リサイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,778	3,528	1,675	1,251	26,233	2,669	28,902	―	28,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	752	1,570	22	2	2,349	1,170	3,519	△3,519	―
計	20,530	5,099	1,698	1,254	28,582	3,839	32,422	△3,519	28,902
セグメント利益又は損失（△）	△311	△1,400	236	298	△1,176	245	△931	△153	△1,084

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△153百万円には、セグメント間取引消去△116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

４．その他

（１）連結売上高

品　名	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）			当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）			前連結会計年度 （自　平成24年４月１日 至　平成25年３月31日）		
	数量	金額 （百万円）	構成比 （％）	数量	金額 （百万円）	構成比 （％）	数量	金額 （百万円）	構成比 （％）
亜鉛製品	26,908ｔ	4,937	20.9	29,019ｔ	6,130	21.2	107,578ｔ	20,366	19.6
鉛製品	21,012ｔ	4,088	17.3	19,675ｔ	4,851	16.8	87,884ｔ	18,367	17.7
電気銀	82,958Kg	6,321	26.7	86,443Kg	6,312	21.8	353,970Kg	29,053	28.0
硫　酸		464	2.0		420	1.5		1,689	1.6
鉱石販売		1,518	6.4		3,528	12.2		11,034	10.6
電子部品		741	3.1		688	2.4		2,706	2.6
電子材料等		1,060	4.5		1,012	3.5		3,890	3.8
酸化亜鉛		564	2.4		613	2.1		2,178	2.1
廃棄物処理		563	2.4		641	2.2		2,171	2.1
防音建材		504	2.1		502	1.7		1,924	1.9
完成工事高		300	1.3		450	1.6		2,619	2.5
その他		2,596	11.0		3,748	13.0		7,650	7.4
合　計		23,664	100.0		28,902	100.0		103,654	100.0